

# 着々と進む

## 市立恵那病院再整備事業

市では、老朽化が進む市立恵那病院の再整備を進めています。現在、免震構造を備えた基礎工事を終え、1階部分の工事と2階の床の一部を施工し、平成28年11月の開院を目指しています。

□問い合わせ 医療施設整備課 2612111（内線271）



▲工事が進む市立恵那病院。現在は1階と2階床の一部を施工＝12月12日撮影

### 外来と検査を近くに配置 利用者の利便性を図る

新しい病院は、鉄筋コンクリート造4階建てで、現在の市立恵那病院の診療機能に加え、産科、健診、人工透析の機能を充実させた建物となっています。外来部門を1階と2階に配置して市民の皆さんの利便性を図ります。内科・外科・整形外科の各部門と検査部門、救急部門と放射線部門を近接配置して効率的かつ迅速な対応が可能なフロア構成としています。また外来の待ち時間を有効利用していただけるよう、売店や駐車場、院外でも利用できる携帯電話の呼び出しシステムを導入する計画です。

### 健康診断などを行う健診センター

には専用の出入口を設け、エックス線一般撮影装置など検査に必要な設備を健診専用配置して、一般患者の方とは導線を分けます。高度な検査機器を必要とするオプショナル診断（胃、バリウム検査・内視鏡検査・CT検査・MRI検査）は健診エリアに隣接して配置し、受診者の利便性を図る配置としています。

現病院では駐車場と正面出入口の高低差や、院内廊下のスロープなど問題点が数多くありますが、新病院では駐車場と病院1階フロアを同じ高さの平面で造成し、各階を中央のエレベーターで移動できるようにするなど、来院される方に優しい施設づくりを行っています。

### 免震構造で地震に備える

新病院は、地震に強い免震構造を採用しています。建物を強固にして倒壊を防ぐ耐震構造とは異なり、建物と基礎の間にゴム製の免震装置を設置して、地震の震動エネルギーを直接建物に伝えない仕組みを持っています。免震構造を採用することにより、装置を設置するための免震ピットと呼ばれる地下空間が必要になります。その分の建設コストが増加し、工期も延びてしまいますが、建物全体で揺れを吸収するため、病院本体と建物内の人や医療機器も揺れから守ることができま

### 新病院の概要

名称：市立恵那病院  
建設地：恵那市大井町2725番地5他  
造成面積：約5.0<sup>ha</sup>  
構造：鉄筋コンクリート造、免震構造  
階数：地上4階  
高さ：19.15<sup>m</sup>（最高部22.7<sup>m</sup>）  
延床面積：1万6,489平方<sup>m</sup>  
病床数：199床  
診療科：20科  
完成予定：平成28年9月（開院11月予定）  
全体竣工：平成30年3月末予定

▲上空から見た現病院と新病院の位置関係 12月7日撮影



### 免震ゴム・くい打ちデータ 建築関連のあの問題にお答えします

——新病院は免震ゴムを使用しているそうですが、データ改ざんなどの問題は大丈夫でしょうか。

**答** 市立恵那病院で使用した免震装置は、問題のあった業者の製品ではありません。また製造工場へ市の担当職員が出向いて製造途中の製品検査確認などを行っているから納品、据付工事をしていきます。

——建物基礎のくい打ち工事データの改ざんが問題になっていますが、恵那病院は大丈夫でしょうか。

**答** 新病院の建物本体部分には、くい基礎を使っています。打ち込みくいではなく、岩盤まで掘削してセメントによる強固な基礎下の地盤を造ってから病院本体の基礎工事を行いました。なお正面出入口の屋外部分に設置するひさしの基礎にコンクリートくいを使用していますが、試験くいを打って深さを確認した上で

使用するくいの長さを決定し施工しました。工事に当たっては市監督員が現地立ち会いを行い、確実な工事施工を確認しており、報告書類も改ざんのないことを確認しています。

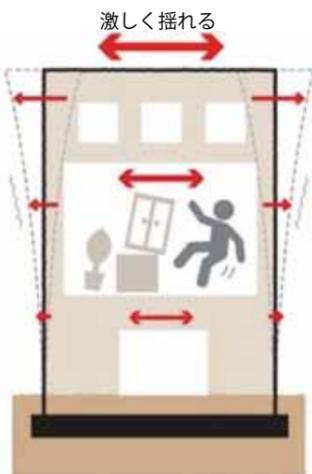
#### 第三者機関の検査を受検

建築工事は、市の監督員（一級建築士）と業務を支援する設計事務所所の建築士によって施工監理を行っています。市立恵那病院再整備事業では「日本EERI株式会社」という第三者機関によっても、法律の規定に適合していることを書類などで確認した上で施工しています。11月26日にはEERIの現地中間検査が行われ、当初の届け出どおりの施工ができていたかなど、工事請負業者の関係書類を確認しました。また建物内部や地下免震ピットにも実際にEERIの検査員が立ち入り、施工状況の確認検査を行いました。

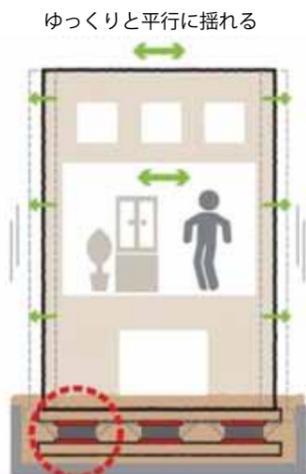
### 免震構造

建物と基礎の間に積層ゴムなどの免震材を設置し、地震の水平方向の揺れを吸収させて病院本体に伝わる地震の揺れを軽減させる仕組み。地震による震動エネルギーを直接建物に伝えないことにより、地震による機能性、居住性の損害を低減します。

#### 一般的な耐震構造による建物



#### 免震構造による建物



地震時の安全性確保が可能

家具の転倒や破損などの2次災害も抑える

建物そのものの被害を抑える

振動エネルギー（揺れ）を免震ゴムが吸収

### 工事は予定どおり進む

平成27年3月から第2期造成工事として、基礎下地盤の改良工事、調整池工事、地下式防火水槽の建設などを行いました。6月からは本体工事に切り掛かり、移動式大型クレーン1基と固定式クレーン3基を用いて、最高部22・7m地上4階建ての病院を建設しています。現在は2階の床部分のコンクリート工事を行っているところで、1月中には2階部分の柱や梁の鉄筋工事と型枠工事に移っていきます。工事スケジュールは、着工当初の天候不順により若干の遅れが生じていましたが、11月末の時点では予定どおりのスケジュールで施工しており、平成28年9月末

の完成に向け取り組んでいます。

### 引き続き理解と協力を

現在、市立恵那病院に隣接する東側の区域で新病院の建築工事を行っており、来院される皆さんや近隣の皆さんには大変ご迷惑をお掛けしています。これから工事が進むにつれ、関連事業者も増え、資材運搬のための通行車両も増加します。また建築工事・設備関連工事に伴う騒音や振動が発生します。資材の搬入がなるべく重ならないようスケジュールを調整し、低騒音による工法の採用や防音シートを使用して安全施工に取り組んでいきますので、ご不便をお掛けしますが、引き続きご理解とご協力をお願いします。

#### 完成後のイメージ

